

第5回 帛の郷運営推進会議 会議録

園長	次長	係長	主任
(矢部)	(山田)	/	(馬場) (斎藤)

令和 2 年 1 月 16 日 (木)	司会	記録
	斎藤雅	斎藤雅

午前 午後 10 時 00 分 ~ 11 時 00 分 まで

<p>【出席者】</p> <p>鈴木辰衛・樋口玲子・大野廣榮・小松智維美・小倉百合子</p> <p>原要助・斎藤正隆・高橋勇次・有本秀雄・大橋昇</p> <p>矢部園長・山田次長・馬場主任・</p> <p style="text-align: right;">計 13 人</p>	<p>【欠席者】</p> <p>山田次長 (山田)</p> <p style="text-align: right;">計 1人</p>
---	--

議 題	協 議 内 容 ・ 結 果
1.園長挨拶	○矢部園長よりあいさつ。馬場主任新任紹介、挨拶。
2.施設概要	○11月末から年明けにかけて入退居が続いた。 ○平均年齢や介護度に大きな変化はない。
2.入居者の処遇の状況	○クリスマス交流会では、施設からパワーポイントを使ってご家族へ日頃の支援の内容や、皆様のご様子を報告させていただいた。 ○ご家族様からは大変好評で、分かりやすかったとお話しをいただいた。 ○また職員とユニット職員がご本人のご支援だけではなく交流によりお互いを知り、顔の見える関係作りを行う事ができた。 ○季節柄天候をみながら、当日外出を決め、行ったケースもあった。
3.入居者の健康管理状況	○入退院が年末に向けて続いた。施設内での感染症流行はないものの体調管理を引き続き行っていく。
4.事故・苦情等の状況	○骨折(ヒビ)事故があり五泉市へ報告している。骨粗しょう症の既往のある方であったが、事故を受けて離床時だけではなく臥床時を含め関節に負担となる状況がないかを機能訓練指導員も交え検討した。 現在は、スライディングボードを利用し、離床時にも関節に負担が掛からないよう支援している。今後もリスク管理確実に行っていきたい。

議 題	協 議 内 容 ・ 結 果
5.活動実績・今後の予定(12月～R2.1月)	○別紙参照
6.その他(意見交換)	<p>○時来よっては面会制限をする施設もあると聞くが帛の郷ではどうか。</p> <p>⇒確定した面会制限の時期は設けていない。周辺地域の感染情報や施設内での発症状況を元に随時検討する。</p> <p>○本日水害想定避難訓練が行われるとのことだが、小学校では不審者侵入想定訓練を行っている。そのようなリスクへの訓練実施の予定はないか。また、立地状況から不審者の侵入があった際には、双方で情報を共有できると良いとも思っている。</p> <p>⇒昨年度、法人として不審者対応訓練を実施した。さすまた等利用して行ったが、施設としては完全に部外者の侵入を防ぐ事はできず、相手を見て判断するために日ごろから面会者との関わりを持つ事が必要と思っている。</p> <p>○他県で施設内での尻餅による打ち身の為受診したところ、偶然発見された肺炎が非常に重度でそのまま肺炎で入院となり、その日の夜に亡くなったとのケースが市に情報として回ってきていた。</p> <p>その方は、当日も問題なく食事をして日頃と変わらない様子であったとのこと。高齢者は状態変化が分かりにくい為、注意する必要があると改めて感じたケースであった。</p> <p>⇒肺炎の主症状(高熱、咳嗽等)が出にくいことは、当施設の入居者のご様子を見ていても感じている。いただいた情報をもとに一般的な症状だけにとらわれず、体調管理を行っていきたい。</p>
【 懸 案 事 項 】	